

# スーパーマーケット販売統計調査資料

2015年7月実績 速報版(パネル275)

6月実績 確報版

(8月21日公表)

## 調査資料概要

### 【パネル集計】

食品を中心に扱うスーパーマーケットを対象に同一企業を集計

※2015年4月実績よりパネル対象企業変更(285社→275社)

### 【集計項目】

商品分類別・エリア別・保有店舗別集計

集計企業数、総店舗数、総売場面積、店舗平均月商、売場1㎡あたり売上高

### 【速報版・確報版】

速報版:毎月21日前後に前月販売実績を速報値として公表

確報版:速報値に精度の高い集計を行い確報値として公表

### 【全店・既存店】

全店:前年同月全営業店舗と当月全営業店舗の比較

既存店:前年同月、当月共に営業の店舗による比較

## 【商品分類】

総売上高	食品合計	生鮮3部門	青果	野菜類、果実類、花
			水産	魚介類、塩干物
			畜産	食肉類、肉加工品
		惣菜	惣菜、折詰料理、揚物、弁当、おにぎり、寿司、インスタペーカーリー、ファーストフード	
	日配	豆腐、こんにゃく、納豆、練製品、佃煮、漬物、パン、卵、乳製品、生菓子、冷凍食品、アイスクリーム		
	一般食品	調味料、瓶缶詰、乾物、米、小麦粉、乾麺、嗜好品、菓子、酒類		
	非食品	日用雑貨品、医薬・化粧品、家具インテリア、家電製品、婦人衣料、紳士衣料、文具、玩具		
その他	テナント売上高、タバコ・ギフト販売、その他取次業(DPE、クリーニング、宅配便、レンタル、チケット販売等)			

## 【地方分類】

北海道・東北地方	北海道、青森、岩手、秋田、宮城、山形、福島
関東地方	茨城、栃木、群馬、埼玉、千葉、東京、神奈川
中部地方	新潟、富山、石川、福井、山梨、長野、岐阜、静岡、愛知
近畿地方	三重、滋賀、奈良、和歌山、京都、大阪、兵庫
中国・四国地方	岡山、広島、鳥取、島根、山口、香川、徳島、愛媛、高知
九州・沖縄地方	福岡、佐賀、長崎、大分、熊本、宮崎、鹿児島、沖縄

※2014年4月実績よりエリア区分を8地方区分による6地方に変更

一般社団法人 日本スーパーマーケット協会

オール日本スーパーマーケット協会

一般社団法人 新日本スーパーマーケット協会

スーパーマーケット販売統計調査に関するお問い合わせ

tokei@super.or.jp

2015年8月21日

一般社団法人 日本スーパーマーケット協会  
 オール日本スーパーマーケット協会  
 一般社団法人 新日本スーパーマーケット協会

スーパーマーケット販売統計調査  
 2015年7月実績 速報版 (パネル275)

	全店売上高 (万円)	構成比	前年同月比 (全店)	前年同月比 (既存店)
総売上高	86,100,046	100.0%	104.0%	101.7%
食品合計	75,732,083	88.0%	104.5%	102.1%
生鮮3部門合計	27,903,146	32.4%	105.8%	103.2%
青果	11,226,755	13.0%	107.9%	105.6%
水産	7,695,222	8.9%	103.3%	100.6%
畜産	8,981,169	10.4%	105.5%	102.6%
惣菜	8,305,113	9.6%	106.2%	103.4%
日配	16,550,196	19.2%	104.0%	101.6%
一般食品	22,973,628	26.7%	102.9%	100.8%
非食品	7,232,078	8.4%	100.7%	99.1%
その他	3,135,885	3.6%	100.3%	99.9%

## 地方分類別集計

エリア	全店売上高 (万円)	集計対象企業数	前年同月比 (全店)	前年同月比 (既存店)
北海道・東北地方	13,503,505	49	103.3%	101.0%
関東地方	30,848,477	70	104.5%	102.2%
中部地方	10,167,579	58	103.7%	101.1%
近畿地方	17,704,329	34	103.0%	101.2%
中国・四国地方	8,552,401	36	106.6%	103.0%
九州・沖縄地方	5,323,754	28	103.2%	102.3%

## 保有店舗数別集計

保有店舗数	全店売上高 (万円)	集計対象企業数	前年同月比 (全店)	前年同月比 (既存店)
1~3店舗	900,545	55	99.2%	100.3%
4~10店舗	3,698,442	68	103.1%	101.8%
11~25店舗	10,041,769	65	102.3%	100.4%
26~50店舗	15,547,063	45	104.0%	101.6%
51店舗以上	55,912,227	42	104.4%	102.0%
集計企業数 (社)	275	既存店総売上高 (万円)	83,479,780	
総店舗数 (店舗)	7,456	店舗平均月商 (万円)	11,548	
総売場面積 (㎡)	12,705,181	売場1㎡あたり売上高 (万円)	6.8	

※売上高は税抜金額

※売上高は千円以下、構成比・前年同月比は小数点第2位以下四捨五入

2015年8月21日

一般社団法人 日本スーパーマーケット協会  
 オール日本スーパーマーケット協会  
 一般社団法人 新日本スーパーマーケット協会

スーパーマーケット販売統計調査  
 2015年6月実績 確報版 (パネル275)

	全店売上高 (万円)	構成比	前年同月比 (全店)	前年同月比 (既存店)
総売上高	84,159,982	100.0%	103.5%	101.2%
食品合計	73,908,123	87.8%	104.0%	101.6%
生鮮3部門合計	27,788,287	33.0%	105.9%	103.3%
青果	11,601,769	13.8%	108.3%	105.9%
水産	7,223,339	8.6%	103.5%	100.9%
畜産	8,963,180	10.7%	104.8%	102.0%
惣菜	7,964,851	9.5%	105.4%	102.5%
日配	15,950,585	19.0%	103.1%	100.8%
一般食品	22,204,400	26.4%	101.9%	99.8%
非食品	7,279,460	8.6%	99.7%	98.6%
その他	2,972,399	3.5%	98.2%	98.1%

## 地方分類別集計

エリア	全店売上高 (万円)	集計対象企業数	前年同月比 (全店)	前年同月比 (既存店)
北海道・東北地方	13,166,069	49	102.4%	100.3%
関東地方	29,990,866	70	104.2%	101.6%
中部地方	9,955,997	58	102.6%	100.2%
近畿地方	17,736,407	34	102.9%	101.1%
中国・四国地方	8,211,842	36	105.1%	101.9%
九州・沖縄地方	5,098,800	28	103.4%	102.8%

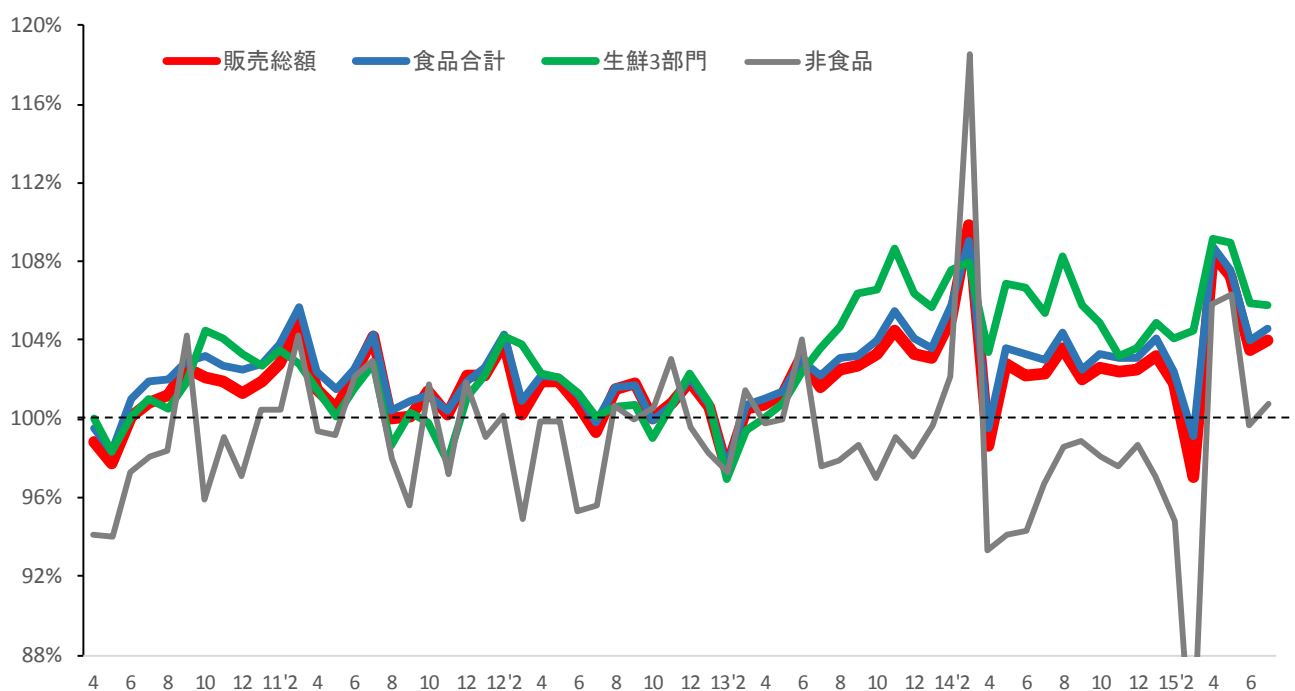
## 保有店舗数別集計

保有店舗数	全店売上高 (万円)	集計対象企業数	前年同月比 (全店)	前年同月比 (既存店)
1~3店舗	895,751	56	99.3%	100.1%
4~10店舗	3,635,098	68	102.0%	101.4%
11~25店舗	9,784,145	64	102.1%	100.2%
26~50店舗	15,198,647	45	103.6%	101.0%
51店舗以上	54,646,342	42	103.8%	101.5%
集計企業数 (社)	275	既存店総売上高 (万円)	81,581,585	
総店舗数 (店舗)	7,425	店舗平均月商 (万円)	11,335	
総売場面積 (㎡)	12,657,482	売場1㎡あたり売上高 (万円)	6.6	

※売上高は税抜金額

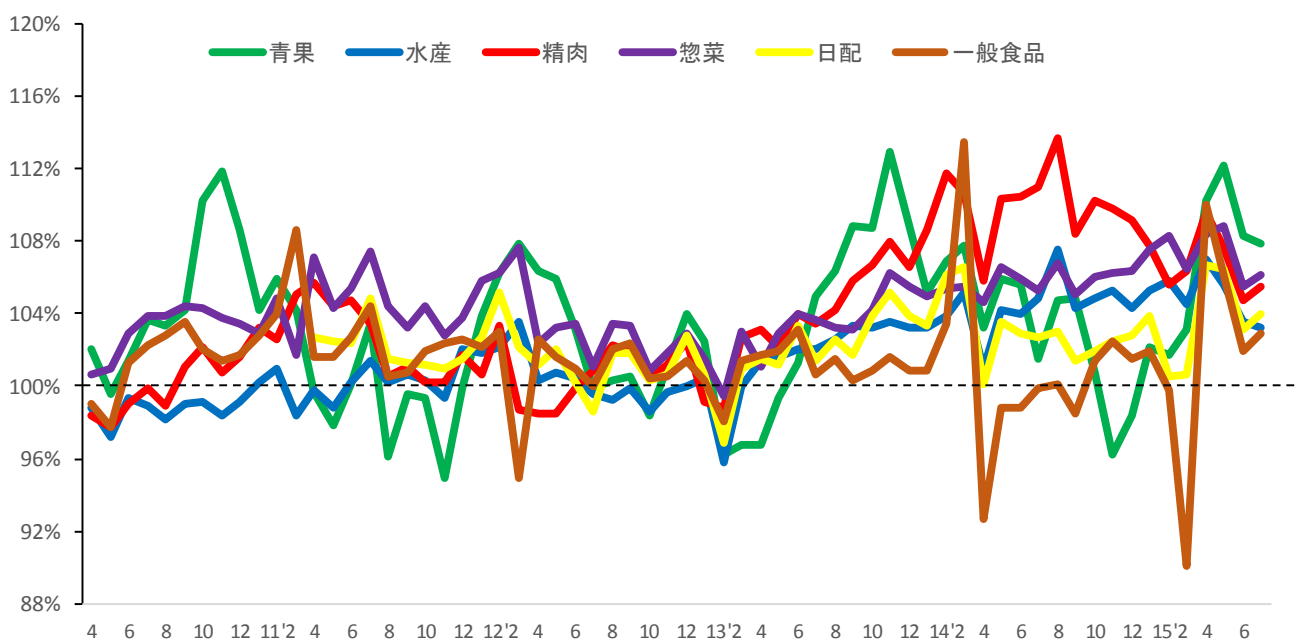
※売上高は千円以下、構成比・前年同月比は小数点第2位以下四捨五入

スーパーマーケット販売統計推移 2010年4月～2015年7月(全店ベース対前年同月比)  
販売総額・食品合計・生鮮3部門・非食品



※2010年4月～2015年6月までは確報版による前年同月比、2015年7月は速報版による前年同月比  
※2011年3月までは、「非食品」に「その他」を含む

スーパーマーケット販売統計推移 2010年4月～2015年6月(全店ベース対前年同月比)  
青果・水産・畜産・惣菜・日配・一般食品



※2010年4月～2015年6月までは確報版による前年同月比、2015年7月は速報版による前年同月比  
※2011年3月までは、「一般食品」に「日配」を含む

## 2015年7月エリア別気候状況

### 1. 平均気温

平年との比較：上旬は全国的に低く、中旬以降は東日本を中心にかなり高く、西日本では低い気温となった

2014年7月との比較：上旬は全国的に低い気温となり、中旬は東北、関東、北陸地方で高くなった

	平年との比較(°C)						今年と前年との差(°C)		
	2015年7月			2014年7月(前年)			上旬	中旬	下旬
	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬			
北海道地方	-0.9	1.8	2.3	1.2	2.5	1.8	-2.1	-0.7	0.5
東北地方	-0.1	2.4	2.5	1.3	1.2	1.5	-1.4	1.2	1.0
関東甲信地方	-1.8	2.3	2.2	0.1	0.9	1.3	-1.9	1.4	0.9
北陸地方	-1.3	2.4	1.3	1.1	0.3	0.7	-2.4	2.1	0.6
東海地方	-2.4	1.3	1.5	-0.2	0.7	1.0	-2.2	0.6	0.5
近畿地方	-1.8	1.0	0.4	-0.1	0.6	1.0	-1.7	0.4	-0.6
中国地方	-1.7	0.7	0.5	-0.1	0.0	1.0	-1.6	0.7	-0.5
四国地方	-2.1	0.1	0.1	-0.6	0.1	0.8	-1.5	0.0	-0.7
九州北部	-1.8	-1.1	-0.1	-0.8	-0.7	0.7	-1.0	-0.4	-0.8
九州南部・奄美地方	-2.0	-1.0	-0.2	-0.8	-0.5	0.7	-1.2	-0.5	-0.9

#### 平年差

+2°C以上  
+1°C以上

-2°C以上  
-1°C以上

#### 前年差

+2°C以上  
+1°C以上

-2°C以上  
-1°C以上

### 2. 日照時間

平年との比較：上旬は北海道と東北を除いて短く、中旬は東日本で長く、西日本で短い日照時間となった

2014年7月との比較：上旬は関東、東海で短く、中旬は東日本で長く、下旬は全国的に短い日照時間となった

	日照時間 平年比(%)						今年と前年との差(%)		
	2015年7月			2014年7月(前年)			上旬	中旬	下旬
	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬			
北海道地方	142	175	53	94	150	152	48	25	-99
東北地方	135	152	103	126	98	145	9	54	-42
関東甲信地方	30	173	141	89	112	150	-59	61	-9
北陸地方	93	168	104	122	101	132	-29	67	-28
東海地方	22	132	122	78	126	138	-56	6	-16
近畿地方	38	120	96	64	122	132	-26	-2	-36
中国地方	59	94	92	61	103	132	-2	-9	-40
四国地方	36	81	100	56	106	122	-20	-25	-22
九州北部	66	67	85	47	77	113	19	-10	-28
九州南部・奄美地方	35	60	88	50	97	115	-15	-37	-27

#### 平年差

平年比150%以上  
平年比125%~149%

平年比50%以下  
平年比51%~75%

#### 前年差

+50%以上  
+25~49%

-50%以下  
-25~-49%

### 3. 降水量

平年との比較：上旬は太平洋側や九州南部を中心に降水量が多く、中旬は西日本の太平洋側で降水量が多くなった

2014年7月との比較：上旬は関東と東海で多く、中旬は西日本の太平洋側で多く、下旬は北海道を除いて多い降水量となった

	降水量 平年比(%)						今年と前年との差(%)		
	2015年7月			2014年7月(前年)			上旬	中旬	下旬
	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬			
北海道地方	87	75	158	76	24	164	11	51	-6
東北地方	28	46	123	137	82	41	-109	-36	82
関東甲信地方	219	135	61	110	77	25	109	58	36
北陸地方	75	47	135	141	98	45	-66	-51	90
東海地方	291	141	41	132	44	6	159	97	35
近畿地方	149	279	142	113	43	5	36	236	137
中国地方	68	48	82	120	72	6	-52	-24	76
四国地方	160	187	89	170	19	30	-10	168	59
九州北部	95	72	91	207	68	22	-112	4	69
九州南部・奄美地方	251	219	149	233	30	88	18	189	61

#### 平年差

平年比150%以上  
平年比125%~149%

平年比50%以下  
平年比51%~75%

#### 前年差

+50%以上  
+25~49%

-50%以下  
-25~-49%

気象庁ホームページ・報道発表資料「7月の気候」を参照  
平年値は過去30年(1981年~2010年)の平均  
スーパーマーケット統計事務局作成

# スーパーマーケット景気動向調査

2015年8月調査結果（7月実績）  
（8月21日公表）

スーパーマーケット中核店舗を対象として経営動向や景気判断を調査し、月次でスーパーマーケット経営を取り巻く内外の環境変化を定量的に明らかにすることを目的としています。またスーパーマーケット販売統計調査における売上変動の要因やカテゴリー別好不調要因を補足する役割を果たすことも期待しています。

## 【経営動向調査】

1. 経営状況：「売上」「収益」「生鮮品仕入原価」「食品仕入原価」「販売価格」「客単価」「来客数」  
スーパーマーケット中核店舗における各経営状況について

- ・前年同月と比較し「かなり増加」から「かなり減少」までの5段階で評価
- ・前年同月を100とした当月の値を調査 ※2014年4月実績より

2. カテゴリー動向：「青果」「水産」「畜産」「惣菜」「日配」「一般食品」「非食品」  
スーパーマーケット中核店舗における各カテゴリーに販売動向について、

- ・前年同月と比較し「かなり好調」から「かなり不調」までの5段階で評価
- ・各カテゴリーの好不調要因についてのコメント

---

経営動向調査DI (Diffusion Index) の算出方法

回答構成比 (%) に以下の点数を乗じてDIを算出

かなり改善+0.5・やや改善+0.25・変わらない±0・やや悪化-0.25・かなり悪化-0.5

※すべて企業が「変わらない」と回答した場合、DIは「0」

## 【景況感調査】

1. 景況感：「景気状況」「消費者購買意欲」「店舗周辺の競合状況」「店舗周辺地域の景気」について、

- ・2～3ヵ月前と比較した現状について「かなり改善」から「かなり悪化」まで5段階で評価
- ・今後2～3ヵ月の見通しについて「かなり改善」から「かなり悪化」までの5段階で評価

---

景況感DI (Diffusion Index) の算出方法

回答構成比 (%) に以下の点数を乗じてDIを算出

かなり改善+1.0・やや改善+0.75・変わらない+0.5・やや悪化+0.25・かなり悪化+0

※すべて企業が「変わらない」と回答した場合、DIは「50」

一般社団法人 日本スーパーマーケット協会  
オール日本スーパーマーケット協会  
一般社団法人 新日本スーパーマーケット協会

## 8月調査（7月実績）結果概況

### 景気判断 現状判断DIは小幅に上昇し51.5、一方で改善傾向には一服感

7月のスーパーマーケット中核店舗における景気判断DI 現状判断は前月から+0.7の51.5、見通し判断前月から+1.3の49.8となり、わずかな改善となった。引き続き、現状判断は50を上回る水準を維持しているものの、見通し判断はわずかに50を下回った。

経営動向調査結果では、総じて前月からの変化は小さいものの、客単価DIが小幅に上昇したことが、売上高DIや収益DIの改善につながったとみられる。生鮮品や食品の仕入原価DIが高止まりしていることが客単価DIの上昇に寄与している。来客数DIは2ヵ月連続のマイナスとなった。

カテゴリー動向結果は上旬低く、中旬以降高くなった気温の影響や台風や豪雨などの影響を受けたカテゴリーが多い。また、地域によって異なる気候条件となったため、好不調の判断に地域によるばらつきがみられた。（個別のカテゴリー動向については最終ページに掲載）

景況感調査にも、前月から大きな変化はみられないものの、消費者購買意欲DIは、現状・見通し判断共に50を上回る水準となっており、依然として昨年12月以降の堅調なトレンドは維持されている。一方で6月以降は改善の勢いが弱くなっており、景気判断は踊り場にさしかかっているとも見ることができる。（周辺地域景気動向DI 長期傾向参照）次月、7月下旬以降の記録的な猛暑を追い風に再び改善傾向をみせていくか動向を注視したい。

### 景況感調査

#### 現状判断

景気判断DI  
当月：51.5 (+0.7)  
前月：50.8

消費者購買意欲DI  
当月：52.8 (+1.3)  
前月：51.5

周辺地域 競合状況DI  
当月：44.9 (-0.7)  
前月：45.6

店舗周辺地域 景気判断DI  
当月：50.2 (-0.4)  
前月：50.6

#### 見通し判断

景気判断DI  
当月：49.8 (+1.3)  
前月：48.5

消費者購買意欲DI  
当月：51.9 (+2.0)  
前月：49.9

周辺地域 競合状況DI  
当月：42.7 (-1.4)  
前月：44.1

店舗周辺地域 景気判断DI  
当月：49.9 (+0.4)  
前月：49.5

### 経営動向調査

#### 経営状況

売上高DI  
当月：4.2 (+2.5)  
前月：1.7

収益DI  
当月：2.3 (+1.5)  
前月：0.8

販売価格DI  
当月：11.9 (-1.1)  
前月：13.0

客単価DI  
当月：11.0 (+2.6)  
前月：8.4

来客数DI  
当月：-4.8 (-0.8)  
前月：-4.0

生鮮品仕入原価DI  
当月：15.2 (-0.3)  
前月：15.5

食品仕入原価DI  
当月：15.1 (-1.3)  
前月：16.4

#### カテゴリー動向

青果DI  
当月：15.3 (-0.3)  
前月：15.6

水産DI  
当月：-1.6 (-1.5)  
前月：-0.1

畜産DI  
当月：8.9 (+2.5)  
前月：6.8

惣菜DI  
当月：9.1 (-0.2)  
前月：9.3

日配DI  
当月：2.0 (+2.2)  
前月：-0.2

一般食品DI  
当月：-3.5 (+0.4)  
前月：-3.9

非食品DI  
当月：-7.7 (+1.4)  
前月：-9.1

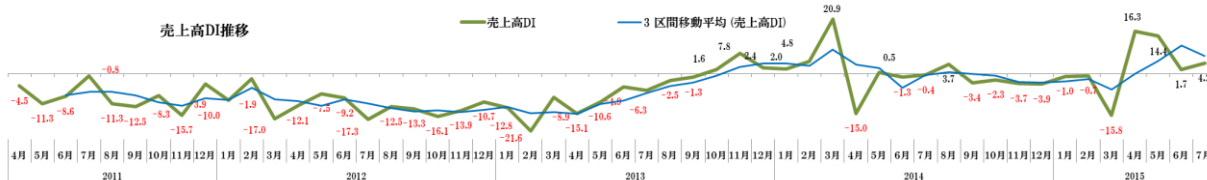
○ 内は前月DIとの増減、赤字はマイナス

# 8月調査（7月実績）結果詳細 I. 経営動向調査（2011年4月～）

## 1. 売上高DI

小幅に持ち直しを見せ、4ヵ月連続のプラス

回答構成比 (%)	かなり減少	やや減少	変わらない	やや増加	かなり増加	DI
売上高（前月）	5.1	24.4	32.3	35.0	3.2	1.7
売上高（当月）	4.7	18.9	33.5	40.6	2.4	4.2



## 2. 収益DI

小幅に持ち直しを見せ、4ヵ月連続のプラス

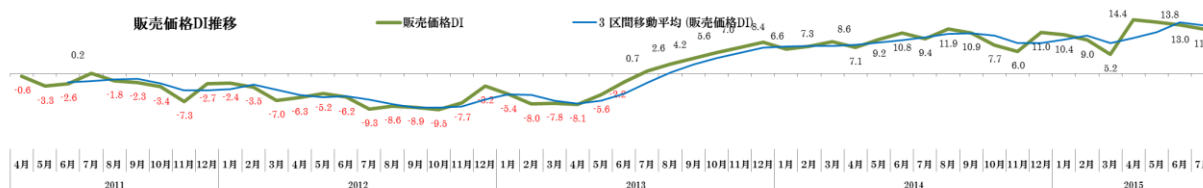
回答構成比 (%)	かなり減少	やや減少	変わらない	やや増加	かなり増加	DI
収益（前月）	8.0	22.2	34.0	30.2	5.7	0.8
収益（当月）	5.8	21.8	33.5	35.0	3.9	2.3



## 3. 販売価格DI

やや落ち着きをみせるも高水準を維持し、24ヵ月連続のプラス

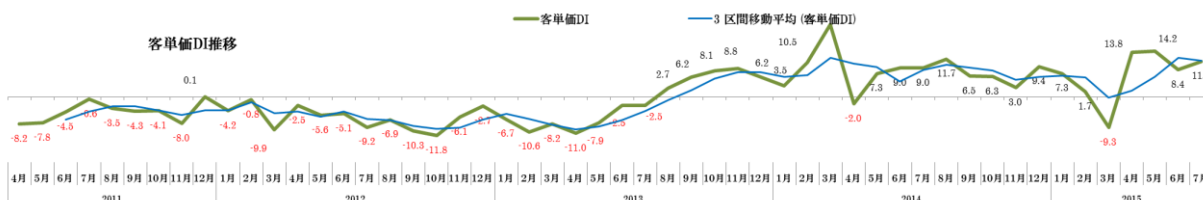
回答構成比 (%)	かなり減少	やや減少	変わらない	やや増加	かなり増加	DI
販売価格（前月）	0.0	4.7	38.5	56.8	0.0	13.0
販売価格（当月）	0.0	5.2	42.4	51.9	0.5	11.9



## 4. 客単価DI

引き続き高い水準を維持するし、4ヵ月連続のプラス

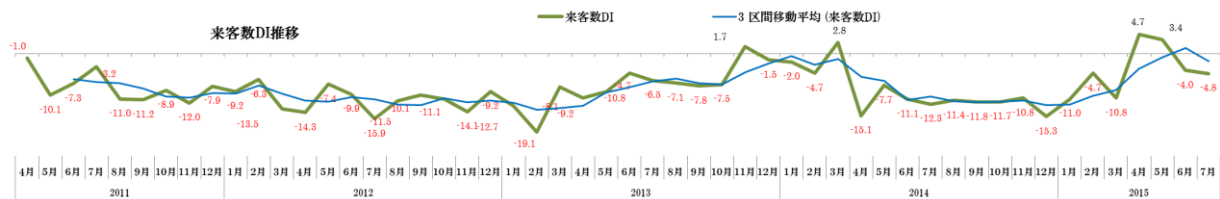
回答構成比 (%)	かなり減少	やや減少	変わらない	やや増加	かなり増加	DI
客単価（前月）	0.0	14.8	37.0	47.7	0.5	8.4
客単価（当月）	0.0	11.0	34.9	53.1	1.0	11.0



## 5. 来客数 DI

前月からほぼ横ばいも2ヵ月連続のマイナス

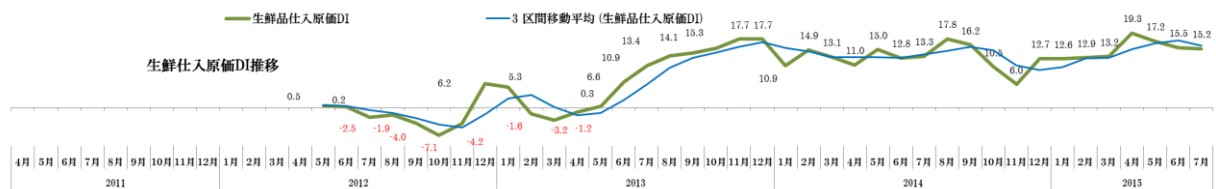
回答構成比 (%)	かなり減少	やや減少	変わらない	やや増加	かなり増加	DI
来客数 (前月)	4.7	34.9	33.5	25.6	1.4	-4.0
来客数 (当月)	6.2	33.0	34.9	25.4	0.5	-4.8



## 6. 生鮮仕入原価 DI

青果・畜産・水産の相場高により引き続き高水準を維持

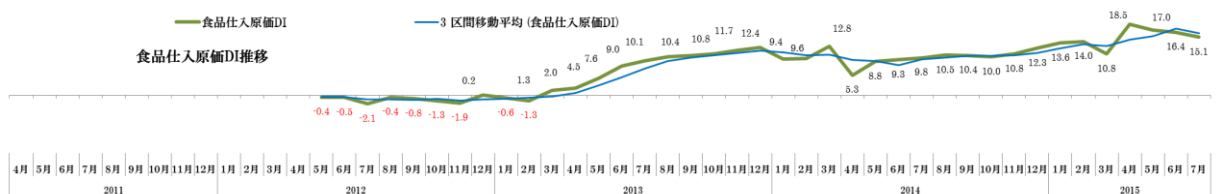
回答構成比 (%)	かなり減少	やや減少	変わらない	やや増加	かなり増加	DI
生鮮仕入原価 (前月)	0.9	4.7	30.3	59.2	4.7	15.5
生鮮仕入原価 (当月)	1.0	3.4	33.8	57.4	4.4	15.2



## 7. 食品仕入原価 DI

引き続き高水準を維持し、二桁のプラス

回答構成比 (%)	かなり減少	やや減少	変わらない	やや増加	かなり増加	DI
食品仕入原価 (前月)	1.4	3.3	27.5	64.0	3.8	16.4
食品仕入原価 (当月)	1.4	3.4	31.9	59.9	3.4	15.1

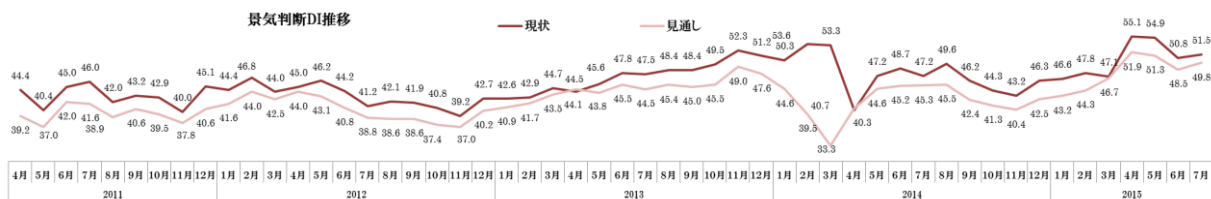


## II. 景況感調査 (2011年4月～/周辺地域景気判断のみ2010年4月～)

### 1. 中核店舗景気判断 DI

現状・見通し判断ともに小幅に改善も、見通し判断は2ヵ月連続で50を割り込む

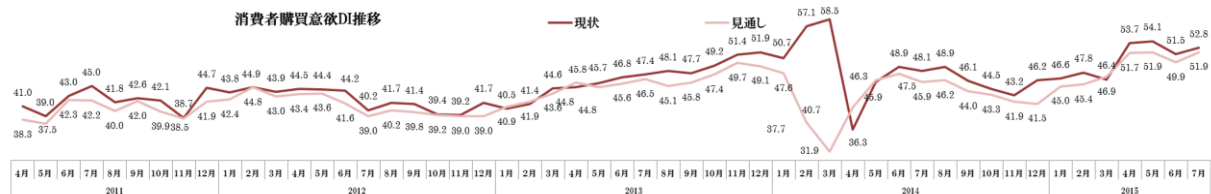
回答構成比 (%)	かなり悪化	やや悪化	変わらない	やや改善	かなり改善	DI
【現状】景気判断 (前月)	1.4	13.9	65.7	18.1	0.9	50.8
【現状】景気判断 (当月)	0.9	14.2	62.7	22.2	0.0	51.5
回答構成比 (%)	かなり悪化	やや悪化	変わらない	やや改善	かなり改善	DI
【見通し】景気判断 (前月)	1.8	19.4	62.2	16.1	0.5	48.5
【見通し】景気判断 (当月)	1.4	16.9	62.9	18.8	0.0	49.8



### 2. 消費者購買意欲 DI

現状・見通し判断ともに小幅に改善し、50を上回る水準

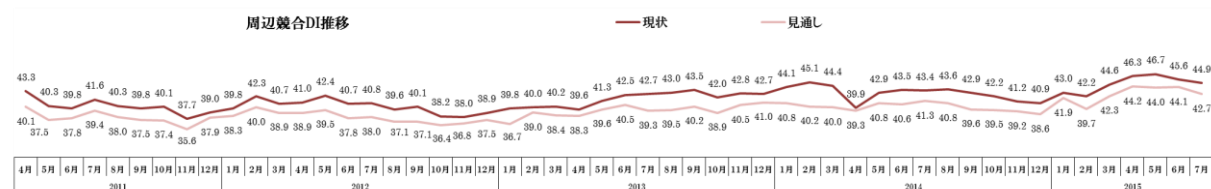
回答構成比 (%)	かなり悪化	やや悪化	変わらない	やや改善	かなり改善	DI
【現状】購買意欲 (前月)	0.5	12.5	68.1	18.5	0.5	51.5
【現状】購買意欲 (当月)	0.5	9.0	69.8	20.3	0.5	52.8
回答構成比 (%)	かなり悪化	やや悪化	変わらない	やや改善	かなり改善	DI
【見通し】購買意欲 (前月)	0.5	13.8	71.9	13.4	0.5	49.9
【見通し】購買意欲 (当月)	0.5	8.5	74.2	16.9	0.0	51.9



### 3. 中核店舗周辺競合状況 DI

大きな変化はなく横ばい傾向

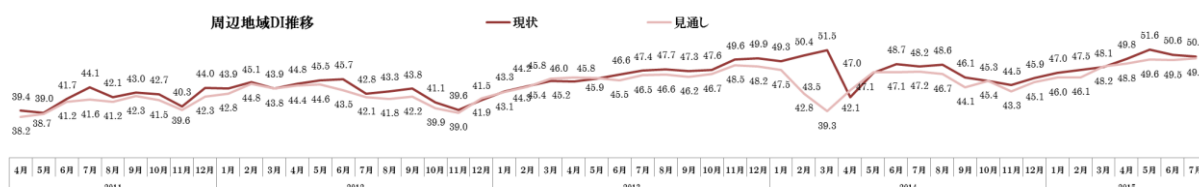
回答構成比 (%)	かなり悪化	やや悪化	変わらない	やや改善	かなり改善	DI
【現状】競合状況 (前月)	1.4	19.0	75.5	4.2	0.0	45.6
【現状】競合状況 (当月)	2.8	19.3	73.1	4.7	0.0	44.9
回答構成比 (%)	かなり悪化	やや悪化	変わらない	やや改善	かなり改善	DI
【見通し】競合状況 (前月)	3.7	19.8	72.8	3.7	0.0	44.1
【見通し】競合状況 (当月)	5.2	22.5	69.0	2.8	0.5	42.7



#### 4. 中核店舗周辺地域景気判断DI

現状、見通しともに前月の水準を維持

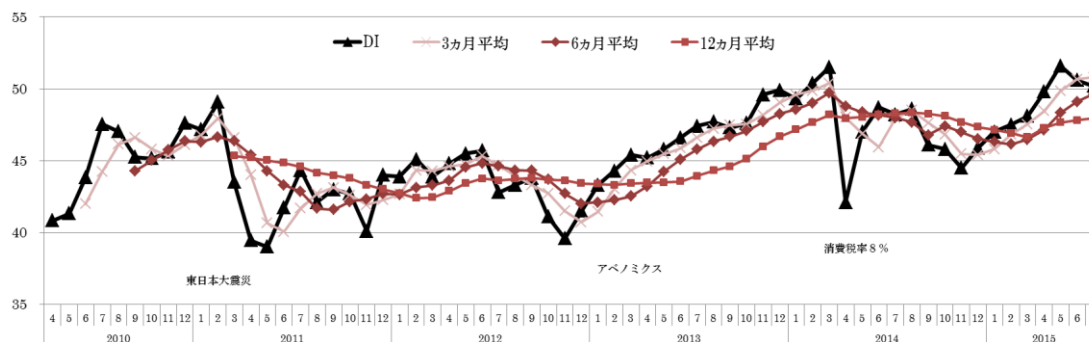
回答構成比 (%)	かなり悪化	やや悪化	変わらない	やや改善	かなり改善	DI
【現状】地域景気(前月)	0.0	7.4	82.8	9.8	0.0	50.6
【現状】地域景気(当月)	0.0	8.0	83.0	9.0	0.0	50.2
回答構成比 (%)	かなり悪化	やや悪化	変わらない	やや改善	かなり改善	DI
【見通し】地域景気(前月)	0.0	10.6	80.6	8.8	0.0	49.5
【見通し】地域景気(当月)	0.0	9.4	81.7	8.9	0.0	49.9



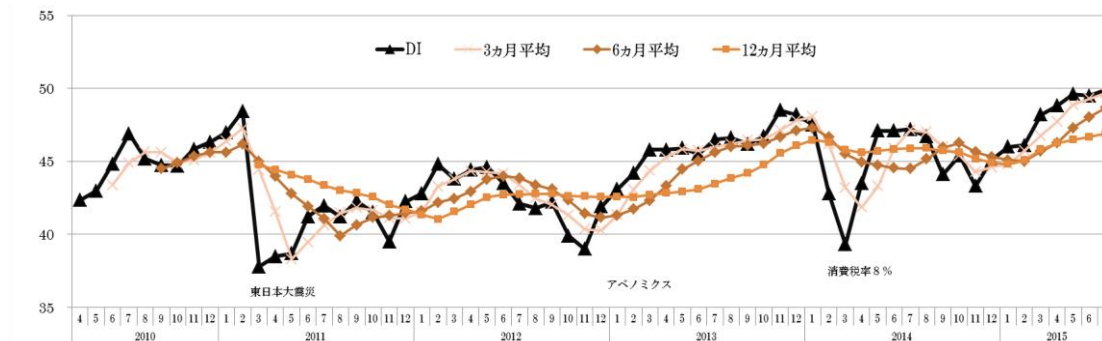
#### 長期傾向 (2010年4月～)

2012年11月以降上昇を一本調子に続けていた「中核店舗周辺地域景気判断DI」は、2014年4月の消費税率引き上げの影響を受け下落した。その後、5月に持ち直すものの、6月～8月まで横ばい推移、9月～11月では再び下落となった。消費税率引き上げ後、3ヵ月周期でトレンドが変化し、方向感の見えにくい状況であったが、12月以降は6ヵ月連続の改善となり、5月には、2010年の調査開始以降で最高水準にまで上昇をみせた。依然として各移動平均線はわずかなプラスでの推移を続けているが、6月と7月はやや上昇の勢いがなくなってきたおり、景気判断は踊り場にさしかかっていると思われる。

#### 現状判断 (中長期傾向)



#### 見通し判断 (中長期傾向)



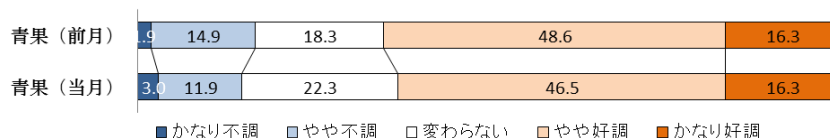
### Ⅲ. カテゴリー別動向

#### カテゴリー別動向 DI による好不調判断

かなり好調：20 以上・好調：10～20・やや好調：0～10

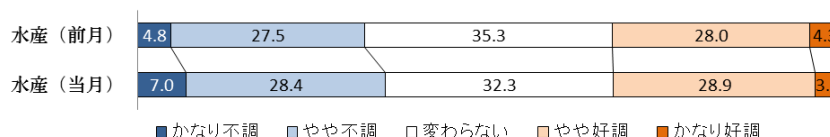
かなり不調：-20 以下・不調：-20～-10・やや不調：-10～0

#### 1. 青果 DI：15.3（好調）



青果相場や果実が高値で推移した影響により好調となった。販売数量の減少を単価の上昇でカバーしている。サラダ関連、カット野菜が好調である。果実に関しては、好調とするコメントが多い一方で不調のコメントも散見されており、地域による天候により判断は分かれている。好調としてあげられている品目としては、季節果物やカットフルーツがあげられている。

#### 2. 水産 DI：-1.6（やや不調）



国産相場安を追い風にした土用丑の日によるうなぎは総じて好調であったが、相場の高騰や魚種や入荷量の不足によりカテゴリー全体ではやや不調となった。その他ではかつおを好調にあげるコメントが散見された。

#### 3. 畜産 DI：8.9（やや好調）



引き続き精肉相場が高い状況が続いておりやや好調となっている。前年好調であった牛肉については、引き続き焼肉需要などで好調とするコメントと前年からの反動により不調とするコメントにわかれた。豚肉については、高騰している国産に代わり輸入豚鶏肉の売り込みを強化し好調とのコメントが多くみられた。

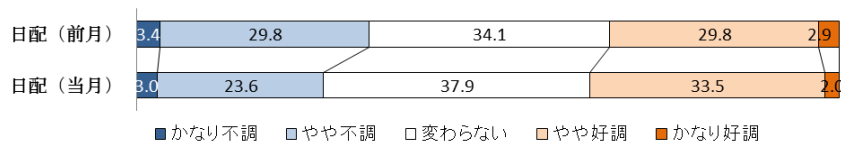
#### 4. 惣菜 DI：9.1（やや好調）



土用丑の日のうなぎ関連、気温上昇に伴うフライや揚げ物が好調であり、カテゴリーではやや好調となった。夕方の品揃えやできたての提供などの取組みが成果をあげている一方で、人手不足の影響や気温や天候不順による影響を指摘するコメントが多く寄せられた。

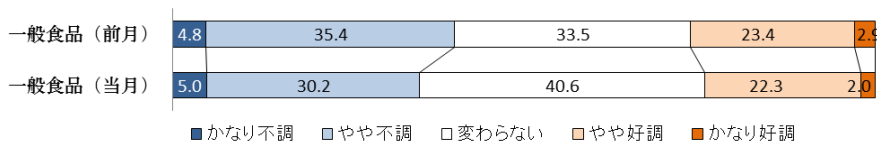
## 5. 日配DI：2.0（やや好調）

気温や天候に大きく影響を受けるカテゴリであり、地域の状況により好不調まちまちな結果となった。涼味関連では、上旬は気温が低く不調で、中旬以降の気温上昇とともに好調となった地域が多かった。価格が上昇した乳製品やパン類が不調とのコメントが散見されている。



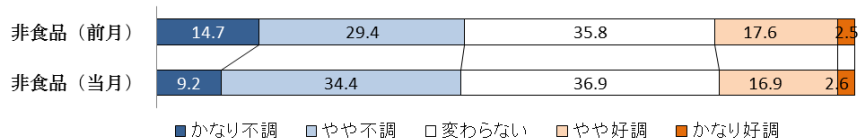
## 6. 一般食品：-3.5（やや不調）

気温が上昇した地域では、涼味商材や飲料などが好調であったが、米相場安や昨年好調であった菓子カテゴリが不調となり、カテゴリ全体ではやや不調となった。前半の天候不良や気温低下を後半でカバーできなかったとのコメントも散見された。競合との価格競争の厳しさの指摘も目立った。



## 7. 非食品DI：-7.7（やや不調）

上旬の気温が低くなったことによる夏物商材の不振や他業態との競合の影響でカテゴリ全体ではやや不調となった。売場を縮小していることによる売上が減少となっているコメントも散見されている。



## 2015年8月調査（7月実績）キーワードTOP3

1. 天候要因（上旬気温低下、中旬以降上昇、雨天・台風）
2. プレミアム商品券
3. 生鮮品（特に青果）相場高

## スーパーマーケット景気動向調査

7月実績速報版集計 213社

6月実績確報版集計 217社

## スーパーマーケット景気動向調査に関するお問い合わせ

[tokei@super.or.jp](mailto:tokei@super.or.jp)